

3年ぶりの広島県支部総会

コロナウイルス感染症禍の中、毎年開催していた支部総会が令和2年以来3年ぶりに、福山 守会長の臨席をいただき開催しました。

開催を決めた昨年12月には、コロナ感染の第8波が来ると騒がれていた時期でもあり、参加者が少ないかもしれないなと思いましたが、だめなら早めに内諾を得ていた福山会長と支部長の私と会計幹事の3人でもいいから決行するという意気込みで会員に案内を出しました。

今回は、当広島県支部の会員でもある平成4年卒の川野悦生会員が、昨年広島県獣医師会の会長に就任されましたので、そのお祝いも兼ねて実施しました。麻布大学の同窓生で広島県の獣医師会長になられたのは、私の記憶では初めてではないかと思えます。

よって、コロナ禍の中でも参加者は増えるのではないかと期待しましたが、やはりまだ自分の生活と健康の方が大切と考える人が多く、コロナに負けてしまい、期待外れでした。

とは言え、17名の会員（コロナ以前には30余名）が参加して、川野会長を祝福し、支えていこうと少人数でも大変盛況な会となりました。

また、懸案である獣医師以外の生命・環境科学部の会員も2名参加され、今後とも参加してもらい、参加者を増やすように頑張ることで意見が一致しました。

なかなか同窓会に加入する若い人が少ない中で、少しでも、職が違い、縁が薄い人たちと一杯酌み交わすことで、知り合いとなり打ち解けて、どこかで会った時にも挨拶のできる同窓という絆でつながることができればと期待するところです。

《文責 田中啓一》

